

会 議 概 要

●開催概要	
名 称	第1回 礎地域コミュニティ協議会 新バスシステム説明会
日 時	平成25年5月13日 午後7時から午後9時
場 所	生涯学習センター 講座室401・402
説明者	新潟市都市政策部新交通推進課、都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	21名
●会議内容	
<p>(1) 新バスシステムについて（新潟市説明）</p> <p>(2) 提案内容について（新潟交通説明）</p> <p>(3) 質疑・応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言</p> <p>★発言者1（男性）</p> <ul style="list-style-type: none">・バス路線の減便・廃止が続くと、公的な負担が増えるとのことだが、どういうことか。分かりやすく説明してほしい。 <p>○新潟市</p> <ul style="list-style-type: none">・バス利用者が減少し、市からの補助金等で運行を賄っている路線もある。また、住民バスも市が運営しており、このままの状態が続くと、市の負担がどんどん増えていく。 <p>★発言者2（男性）</p> <ul style="list-style-type: none">・市の情報はミスリードしている。バス利用者も減少し、乗車率も低下していると言っていたが、これは大規模なスーパーが多く郊外に出来たせい。自動車増加、CO2排出量の増加も、バス路線がない郊外にスーパーが出来たことが原因。そこをきちんと認識しているか。 <p>○新潟市</p> <ul style="list-style-type: none">・郊外型店舗（駐車場も無料）がどんどん増加し、まちなかへ行く機会は減少している。まちなかでも通勤・通学時にマイカーを使用する人が増えている。郊外型店舗の影響も大きいですが、それだけではないと理解している。 <p>★発言者2（男性）</p> <ul style="list-style-type: none">・交通だけで中心市街地を活性化させようなんて考えてはいけない。人を呼び込むには、交通を良くするだけではダメ。まちなかの商店街の人々の努力が重要。努力があり、人が集まるようになり、交通が変わるのが理想的な流れ。・交通結節点に人を集め、乗換をし、余った分を郊外に分配することのことだが、交通結節点で整備されるところはあるのか。寒い中、待たせるのか。 <p>○新潟市</p> <ul style="list-style-type: none">・あくまでも交通は手段であるが、まちなかの活性化と両輪で、まちなか活性化に取り組む地域魅力創造部や商業振興課などとも、お互い高めあいながら考えていきたい。	

- ・交通結節点としては、平成 26 年度の開業時では青山と市役所が重要。市役所については、第 1 分館と本館の間を活用し、ミニターミナルを整備する。今、検討を進めているところだが、夏ごろには具体的な絵を示したい。青山は、暫定的な整備。既存の道路空間の中で乗換の利便性を高める予定だが、あくまで暫定的なので、早くきちんとしたものを作っていきたい。

★発言者 3（男性）

- ・ 2, 3 年前に聞いたことがあり、もう出来ているかと思っていたが、新聞では反対意見が多く、白紙に戻ったのかと思っていた。いつ頃完成するのか。1 度は乗ってみたい。

○新潟市

- ・ 昨年 5 月にお話しした際は、道路中央部の専用走行路と、連節バス 8 台導入と言ったが、安全性を考え、拙速に進めずに既存の道路空間の中での対応と、連節バスを 4 台導入し、効果を見ていく。
- ・ 開業後概ね 5 年での完成を目指したい。

★発言者 4（男性）

- ・ これまでの意見を聞いていると、いかにこれまで市の説明がなかったか。なぜ 1 年間、説明が出来なかったのか、聞かせてほしい。

○新潟市

- ・ 関係機関協議を進める中で、色々な案があり、絞り込むことが出来なかった。シミュレーション上は大丈夫なものでも、実態を考えたときにどうなのかという懸念もあったので、拙速には進めず、段階的に取り組むこととなった。まだ決まっていないものを説明するのは混乱を招きかねない。島式ホームに対しての懸念の声も多くいただいており、検討に時間を要した。

★発言者 4（男性）

- ・ 1 年間も何も公開していない。平成 26 年度に BRT を導入すること自体が拙速ではないか。榎谷小路は狭い。社会実験は駅南側の方が空いていてやりやすいはず。

○新潟市

- ・ 古町の榎谷小路の交通量は 2 万台/日、弁天線は 3 万 6 千台/日となっている。萬代橋の交通量を見ても、これまで 6 万 4 千台/日だったが、柳都大橋の開通などにより、3 万台/日に減少しており、空間として確保がしやすく、人の動きも多いため、駅北側から取り組むこととした。

★発言者 4（男性）

- ・ BRT はまちなかのために導入するのか。古町の商店街は他力本願。アーケードも事業費の 93% を補助してもらっている。駅南側に導入した場合と、北側に導入した場合で比較表を作って欲しい。

○新潟市

- ・ 次回、比較表を作成しておく。

★発言者4（男性）

- ・市役所ターミナルは役に立つのか。白山駅が拠点になると思っていたが、白山駅は整備しないのか。

○新潟市

- ・市役所では、県庁、小須戸線、和合線からのバスの結節点、白山駅は越後線との結節点となる。

★発言者4（男性）

- ・たった4台でスムーズな運行ができるのか。さっさと8台導入すればよい。新潟交通はどう認識しているのか。

●新潟交通株式会社

- ・先ほど説明した通り、連節バスを4台より8台の方がより多くバスが余るため運行本数を増やすことができる。

○新潟市

- ・性能などに対する懸念を払拭したうえで、出来る限り早い段階で8台導入していきたい。

★発言者4（男性）

- ・買うなら、さっさと8台買えばよい。やることが中途半端。

○新潟市

- ・ご意見として承る。

★発言者4（男性）

- ・今日の説明会もたった18人。どう思っているのか。
- ・説明会に関して問合せをしたが、今回と同じ内容の説明会をもう一度やると言っていた。それでは意味がない。少しでも話が進んだら、説明していくべき。

○新潟市

- ・周知期間が短かったことは申し訳ない。4月の自治協後、区の説明会の前に沿線コミ協にはお話をしておきたいと思い、きついスケジュールではあったが、設定させていただいた。

★発言者4（男性）

- ・（説明会をやったという）実績を作りたいだけ。

○新潟市

- ・そうは思っていない。皆様に早く説明していきたいという思いもあった。

★発言者4（男性）

- ・沿線コミ協対象の説明会の実績を報告してほしい。各区平等と言ってはいるが、沿線住民が一番でしょ。

★発言者5（男性）

- ・以前の説明で、雪の問題があると聞いたが、今回の説明では、雪のない動画ばかり。雪が降ると1車線塞がってしまう。

○新潟市

- ・平成26年度の開業時には、現行バスレーンを活用するため、新潟国道事務所と一緒に既存の除雪をさらに強化していく。センターレーンの場合の、除雪や融雪についても検討を進める。
- ・性能については、H25.1の関東での大雪・凍結があったが、その際でも平坦なところでは平常通り運行できていたとのこと、その点の懸念はない。

★発言者5（男性）

- ・最初から決まっているイメージ。説明が少なすぎる。もっと丁寧にすべき。良い悪い、やるやらないの判断をする前に、丁寧な説明を。
- ・新潟交通を協定を締結したのであれば、さっさとやれば良い。締結をする前にもっと丁寧に説明すべき。順序が逆。

○新潟市

- ・基本協定は、これから1年間をかけて新潟市と新潟交通が具体的な計画を作っていく、説明をしていくベースとなるもの。皆さんに説明をし、意見を取り入れながら、それからきちんと契約したい。

★発言者5（男性）

- ・話を聞いていると、新潟交通を助けるための事業に聞こえる。誤解のないように説明しないと。当初は、古町活性化が主眼だったが、今回は説明がなかった。もっとコンセンサスを得るようにしないとダメ。

★発言者6（男性）

- ・今日のこれまでの議論を聞いていたが、そんなことをいつまでも言っていたら、この事業は成功できない。成功するには、「全国のどこの都市にも負けない！」というくらいの方針が必要で、色々意見もあると思うが、市もそれくらいの気構えで頑張ってもらいたい。

★発言者7（男性）

- ・東堀と本町の間は何メートル？その場所に連節バスと直通運転のバスが同じ場所に停まるのか。

○新潟市

- ・だいたい60～70メートル。バス停位置については、今交通結節点等の計画と合わせて詰めているところであり、次回説明会には具体的な案を示していきたい。

★発言者7（男性）

- ・タクシー乗り場は本町7に移設するみたいだが、運送業者の荷さばきの場所はどくなるのか。確保する予定はあるのか。

○新潟市

- ・タクシー乗り場は警察の指定を受けているが、荷さばきは特に決められていないため、バス停の位置等、実態に応じて商店街とも相談しながら検討していく。

★発言者7（男性）

- ・早い段階で見せてほしい。

○新潟市

- ・交通さんと一緒に検討しながら、次回、具体的な話をお示ししたい。

★発言者4（男性）

- ・1年前から決まっていなかったバス停位置が、1、2カ月で決まるのか。

○新潟市

- ・ここでいつとは言えないが、次回以降、案として示したい。

★発言者4（男性）

- ・駅前通りだが、ここはそんなに乗り降りがあるのか。乗車人数が少ないはず。駅前通りでしか社会実験できない。

●新潟交通株式会社

- ・市役所から新潟駅の間のバス停は、すべて市内のTOP10に入っている。
- ・駅前通りは約1,800人/日、古町は約10,000人/日となっている。

★発言者4（男性）

- ・ナント市の映像をもっと長く見せてほしい。ナント市がどんなところか、田舎なのか、都会なのか。15分くらいのものが良い。

○新潟市

- ・要望があればお見せする。

★発言者4（男性）

- ・他のコミ協説明会でも同じような意見が出るはず。次回は3ヶ月後でなく、その前に開いてほしい。沿線コミ協9箇所分の意見を集めたものと、ナント市の映像を併せて。
- ・こちらは予定をキャンセルして、この説明会に来ている。1か月前には開催案内が必要。

○新潟市

- ・6月議会の都合をみて、早めに決めたい。

※ 説明会で出していたいただいた意見の他、説明会終了後に提出していただきました意見提出用紙で、以下のようなご意見をいただきました。（意見欄は自由記載）

- ・連節バスの導入（H26年度に4台）で、効果の検証ができるのか。

- ・白山駅や青山ターミナルで実際に乗り換えをしないと、バスの半数を減らす実験にはならないのではないか？
- ・物珍しさやステータスの意味での導入ではないと思うので、目標をしっかり定め、進めてもらいたい。
- ・コミュニティ協議会対象ということでは一般住民は参加しにくい。もっと参加しやすい雰囲気が欲しい。バス路線が家の前を通るので関心があり参加した。話を聞くチャンスとなり、BRTがなぜ必要なのかようやく少しわかった気がする。
- ・従来のバスよりも、連節バスの台数が圧倒的に少ないにも関わらず、待ち時間・待ち人数が少なくなる理由がわからない。
- ・新バスシステム導入を推進してもらいたい。
- ・計画の概要は理解できたと思うが、具体的・個別的なことや行程が不明なため、理解が十分にできない。
- ・民間企業と新潟市の責任分担が理解できなかった。
- ・計画実施の検証、評価、責任体制等について、説明がない。